



平成25年2月初版発行 / 令和3年9月 改訂
 協力団体 / 広島市やまなみの会・武田山間道団体連絡会 発行 / 西地域地誌こし推進課

登山口案内図

A 鈴ヶ峰登山口案内図

鈴ヶ峰登山口
 鈴ヶ峰公民館
 鈴ヶ峰第二住宅 (私有地)
 鈴ヶ峰団地
 ルート案内板
 歩道橋
 JR新井中駅

JR新井中駅から井口台中学校正門まで車道を約1,000m、約20分歩き、正門前の急な坂道を登ると鈴ヶ峰登山コース案内板がある登山口に到着します。案内板(途中の歩道橋を渡ると、目前に「鈴ヶ峰」の森)へのルート案内板があります。

B-1・2 草津沼田道路口・柚木城山登山口案内図

草津沼田道路口
 柚木城山登山口
 見越山・柚木城山
 至五日市C
 草津沼田道路

草津沼田道路を挟んで、柚木城山登山口および草津沼田道路口の指導標があります。これらの入口の間は草津沼田道路の信号のある横断歩道を渡り、車道を約250m歩きます。

C-1・2・3 己斐峠案内図

己斐峠
 大茶臼山登山口 (迂回ルート)
 柚木城山登山口
 己斐峠
 大茶臼山
 己斐峠バス停
 至五月が丘
 至西広島駅

己斐峠へはJR西広島駅前から五月が丘方面行きのバスを利用すると便利です。己斐峠バス停(国泰寺前)で下車すると、直前に大茶臼山登山口の指導標があります。(階段です。)バス停から西へ約350m車道を進むと柚木城山登山口の指導標があります。その途中に大茶臼山登山口(迂回ルート)があります。

E-1・2 鉾投げ峠案内図

大茶臼山丸山
 宗箇山(三滝山)登山口
 大茶臼山丸山入口
 宗箇山(三滝山)登山口
 至西広島駅
 己斐が丘病院
 至山本

鉾投げ峠には、大茶臼山・丸山入口と宗箇山(三滝山)登山口の指導標があります。これらの入口の間は車道を約100m歩きます。

D-1・2 畑峠案内図

畑峠
 宗箇山(三滝山)・丸山入口
 大茶臼山入口
 至西広島駅

畑峠には峠を挟んで、宗箇山(三滝山)・丸山入口および大茶臼山入口の指導標があります。これらの入口の間は車道を約40m歩きます。

F 宗箇山(三滝山)登山口案内図

宗箇山(三滝山)登山口
 宗箇山(三滝山) (Bコース)
 三滝寺
 三滝墓園
 三滝園
 至三滝川

宗箇山(三滝山)登山口は三滝寺の境内にあり、参道途中でA・Bコースに分岐します。三滝寺にはJR三滝駅から車道を約850m、約20分歩きます。道中所々に宗箇山(三滝山)の案内板があります。

G-1・2 武田山麓の森登山口及び武田山登山口 大町コース

武田山麓の森登山口
 武田山登山口大町コース
 至大町駅
 至大町駅

大町駅から、大町バスターミナル(西)の交差点をこえて、最初の十字路を左折し、大町小学校入口(北)の交差点を目指して進みます。そこから大町郵便局に向けて坂道を上がり、さらに約150m進むと、カーブの上に「武田山登山口 大町コース」の指導標があります。下祇園駅前からは、西へ進み、JR可部線の踏切を渡り、そこから道なりに約800m進みます。道路を渡り、スーパーとJAの間の小道を道なりに約1,000m進むと「武田山麓の森登山口」に到着します。

H 見越山

山頂から柚木城山に向けて約400m行くと、山側から己斐(もみじ)が丘方面に下る道が交差しています。見越とはこの交差する所(峠)を呼んだもので、山側からの道が尾根(峰)を越す意から峰越しと呼び、「わ」が略されて「みこし」となり「見越」の字が当てられました。見越山の名前は、この峠の名前にちなんで付けられました。(参考 ふるた公民館だより(平成22年5月号)「吉田管見」)

見どころ紹介

イ 被爆桜(鈴ヶ峰頂上直下)

鈴ヶ峰頂上直下の南斜面にある「被爆桜」が、開花時期にはハイカーを楽しませてくれます。公園協会(現在の広島市みどり生きもの協会)提供の苗木を平成18年(2006年)2月に西区やまなみの会が平和を願って植樹(9本)を行ったものです。山登りをされる地元有志の方の協力(水やりなど)もあって順調に育っています。

ロ 「鈴ヶ峰」石碑

石碑は、高さ1.7m、幅1.5m、重さ1.7トン。刻まれた「鈴ヶ峰」は、広島藩最後の藩主、浅野長敷公の揮毫と記されています。地域の安全を願い、明治31年(1898年)に建立されました。芸予地震(平成13年(2001年)3月)で台座から落下したままになっていたものを、地元の人たちが平成24年(2012年)10月に復元されました。

ハ 道行地蔵

今から約300年前の浅野藩四代の時代に造像されたお地蔵様だそうです。当時、人馬が往来していた峠道で迷った武士が母子をあやめたそうです。その後に峠付近で「子供を捜す」女性の亡霊が出ました。不憫に思った村人が浄財を投じてお地蔵様を道々に建立したところ、亡霊は出なくなると伝えられています。美鈴が団地造成のとき、点在していたお地蔵様を一か所に集めて、有志の方々が協力を得て祠を建立しました。供養は今も続いています。(参考 道行地蔵由来)

ニ 鬼ヶ城山の八畳岩

この岩の表面には「天狗の足跡」と呼ばれる数個の窪みがあり、磐座と思われます。鬼ヶ城山山頂の東斜面を少し下ったところに小八畳岩があります。伝説によると二つの岩は一つでしたが、あるとき地震で半分が割れ、半分が落下して小八畳岩になったそうです。(参考 日本書紀 広島史話伝説)

ホ 見越山

山頂から柚木城山に向けて約400m行くと、山側から己斐(もみじ)が丘方面に下る道が交差しています。見越とはこの交差する所(峠)を呼んだもので、山側からの道が尾根(峰)を越す意から峰越しと呼び、「わ」が略されて「みこし」となり「見越」の字が当てられました。見越山の名前は、この峠の名前にちなんで付けられました。(参考 ふるた公民館だより(平成22年5月号)「吉田管見」)

ヘ 曹洞宗 国泰寺

当初は安国寺と号していましたが、福島正則の弟である普照を招き住職とした後、国泰寺と改名し、同時に曹洞宗に改宗しました。福島氏の後は、浅野家の帰依を得て、同家の菩提寺となりました。昭和53年(1978年)に、広島市内の再開発が進む中、広島市中心部から現地へ移転しました。

ト 大茶臼山の立石城跡

頂上近くの展望岩に室町時代の山城「立石城」があったと伝えられています。岩の頭が人工的に平らに整えられて櫓を組むのに適した平岩や、岩と岩の間には人間一人が歩ける通路(武者走り)が見られます。このことから、立石城は岩城であったと考えられ、近隣の展望とにらみを利かせていたことでしょう。(参考 広島近郊の山城と史跡より:武田信彦氏)

チ 鉾投げ峠

己斐の最奥地の真北の峠です。その昔、己斐村(現在の西区)と山本村(同安佐南区)とが村の境界をめぐる争いがありました。このとき、鉾を投げて落ちたところを村境にしたことから、この名がついたそうです。(参考 己斐上史跡社散策)

リ 宗箇松

この松は、江戸時代の広島藩主浅野家老で茶人でもあった上田重安(号を宗箇)が、広島城近くの自身の茶室から眺めるために宗箇山(三滝山)の山頂にアカマツを植えたと伝えられています。現在の松は四代目で、平成10年(1998年)に植栽されたものです。

ニ 三滝寺

多くの人たちに「三滝の観音さん」として親しまれています。境内には由来となっている三つの滝の瀧音が響き、本堂までの参道に沿って摩崖仏や小さな石仏などが並んでいます。初夏の青もみじや秋の紅葉は特に美しく、深山幽谷の趣が深く人々の心を和らげ、訪れる人々には憩いの場となっています。

ル 火山

山頂で烽火があったことから「火山」と呼ばれるようになったと伝わっており、山頂には神武天皇烽火伝説地の石碑があります。標高488mで、武田山群の最高峰です。

オ 武田山及び銀山城跡

山の名は、鎌倉・室町時代に安芸国の守護であった武田氏にちなんだものといわれ、その本拠・銀山(金山)城が築かれていた頂上一帯(海拔250m以上)は、県史跡の指定を受けています。登山道沿いには「馬返し」「御守岩台」といった数多くの郭や、「御門跡」などが点在し、安芸国内の中世山城では最大級の規模を誇っていたことがわかります。

おすすめのビューポイント

山頂からの眺めは最高！ 御来光SPOTです！

- イ 鈴ヶ峰からの展望
- ニ 鬼ヶ城山からの展望
- ホ 見越山からの展望
- ト 大茶臼山・展望岩からの展望
- リ 宗箇山(三滝山)からの展望
- ル 火山・八畳岩からの展望
- オ 武田山からの展望